

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for project name, policy system position, budget items, and fiscal year position. Includes details for '5歳児健康相談' and '母子保健法'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (Overall project overview) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 (Tasks, methods, and procedures). Includes details about health consultations for 5-year-olds.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 7 columns: ①手段 (Methods), ④活動指標 (Activity indicators), ②対象 (Targets), ⑤対象指標 (Target indicators), ③意図 (Intent), ⑥成果指標 (Outcome indicators). Includes data for 29, 30, 01, 02, and 03 fiscal years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input volume and costs. Columns include 29, 30, 01 fiscal years (actual vs. planned) and a column for '期間限定総投入量' (Total input for limited period).

30年度事業費実績 (千円)

01年度事業費 予算 (千円)

Table comparing actual expenses for 30th fiscal year and budget for 01st fiscal year. Rows include items like '01 報酬' (Fees), '08 報償費' (Gratuities), and '13 委託料' (Commissions).

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 01, 02, and 03 fiscal years. Includes a note: '※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する' (For projects corresponding to the following, enter the content for each fiscal year). Projects listed include '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	5歳児健康相談	事務事業No.	10203000985	所属課	健康推進課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 幼稚園や保育所の集団生活の場に入り特徴が顕著化してくる発達障害は3歳児健診では発見されにくく、支援につながらないまま就学を向かえ、学童期において二次的不適応を引き起こすことが多い。子どもや保護者が安心して就学を向かえ、適切な支援を受けられる体制を構築する。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 就学前に健診の機会があることで、子どもが心身共に成長しているかみれる機会があつてよい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持 事業に関わる専門職の確保が難しい。 5歳児は、教育保育施設に通っている率も高く、健診の欠席に繋がる傾向要因として考えられる。保護者への受診勧奨と、教育保育施設にも協力を得ていく。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 発達・養育状況において、早期治療、療育が必要な子どもへの支援。また、子育て支援や育児不安の軽減を図ることで、次世代を担う子どもが健やかに育つ体制づくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 母子保健法第13条に基づき実施している。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 各乳幼児健診受診率と比較し受診率が低く改善の余地はある。また、事業内容の見直しや教育関係機関とのさらなる連携をはかることで、要医療、療育の必要な子どもへの対応について、きめ細やかな支援を行っていく必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 疾病の早期発見、早期療育に繋がらなくなる可能性がある。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 医療機関等への委託も考えられるが、経費がかかる。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 臨床心理士や歯科衛生士等の専門職種を配置することでよりきめ細やかな支援と結びつく。事業の精度を高めて行くうえでも削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 対象者に個別通知している。また、未受診者へは、次回受診できることを案内し機会をもうけている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成29年度より開始した事業である。他の健診と比較し受診率が低い。今後は、要医療、療育支援の必要があるお子さんが早期に支援に繋がるよう、事業内容の見直し、教育機関や療育機関との更なる連携を図っていく必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 受診率をあげるため、関係機関と連携を取りながら5歳児健康相談の受診勧奨を行っていく必要がある。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ① コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
---	---